

課、整備課、各耕地出張所、土地改良区、近隣農家など

空知総振局発注の「経営体西幌地区61工区」(馬淵建設㈱施工)を会場に、道農政部の農村計画課、農地整備課、空知総振局の調整課、整備課、各耕地出張所、近隣農家などを、近隣農家との意見交換の時間も設けた。

を確認した。

現地研修会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「新北海道スタイル」に則り、検温や手指のアルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保を徹底して実施。また、今回は、近隣農家との意見交換の時間も設けた。

【岩見沢発】道農政部は17日、南幌町内の道営農業施工現場で、反転均平工法の普及に向けた研修会を開催した。反転均平工法で整備したほ場で営農する近隣農家は「同じ予算で大きな面積を整備できることは良い」と、効果を強調。参加者は、作業工程や工法の特徴などの説明を受けたほか、実際に反転耕起と転圧・押土を行う工事の様子を確認した。

道農政部 反転均平工法現地研修会

工法普及へ理解深めて 農家から効果実感する声も



一定の距離を保つ
て現場を見学



通年施行制度に浸透による夏期施工の増加、働き方改革の推進による施工時期

から約60人が参加した。はじめに、南部耕地出張所の永森孝史所長があいさつ。反転均平工法の利点

に、施工スピードを生かし地域整備量の増加、施工コストダウンによる農家負担の軽減などを挙げ、基盤整備に対する要望が高まる中、「多くの要望に応えることができる」と期待感を示した。

整備に対する要望が高まる中、「多くの要望に応えることができる」と期待感を示した。

一定の距離を保つて現場を見学

続いて、資料に沿って作業工程や工法の特徴、適用条件等について説明した。また、近隣のほ場で営農する(有)豊夢の河村由紀男氏と意見交換。従来の標準切盛工法や突均しと比較し、「整備次年度の営農への支障や収量の違いはない。落水後は容易に乾き、大区画となつたため、作業効率が上がった」と説明した。

反転均平工法による整備後のは場機能回復に向けた當農努力については、「反転均平工法に限らず、土質が均一でないため均平がやりやすいと感じる」と述べ、従来工法と天差がないことを伝えた。

このあと、実際の作業現場を見学。レーザープラウで表土と心土を反転耕起する様子や、バックホーで転圧・押土を確認した。

に、施工スピードを生かし地域整備量の増加、施工コストダウンによる農家負担の軽減などを挙げ、基盤整備を通じて一層支援していきた

い」と述べた。

続いて、資料に沿って作業工程や工法の特徴、適用条件等について説明した。

また、近隣のほ場で営農する(有)豊夢の河村由紀男氏と意見交換。従来の標準切盛工法や突均しと比較し、「整備次年度の営農への支障や収量の違いはない。落水後は容易に乾き、大区画となつたため、作業効率が上がった」と説明した。

反転均平工法による整備後のは場機能回復に向けた當農努力については、「反転均平工法に限らず、土質が均一でないため均平がやりやすいと感じる」と述べ、従来工法と天差がないことを伝えた。

このあと、実際の作業現場を見学。レーザープラウで表土と心土を反転耕起する様子や、バックホーで転圧・押土を確認した。